

FALプロジェクト概要



テーマ

中国残留日本人のライフヒストリーから考える私たちの社会

連携先

中国「残留日本人孤児」を支援する兵庫の会

主な活動場所

兵庫県明石市。明石駅前日本語教室。(3回程度、大阪市内の日本語教室)
*学外での活動に加え、学内での事前・事後学修を適宜実施します

キーワード

中国残留日本人、日本語教室、多文化社会

活動内容 概要

中国残留日本人とは、第二次世界大戦終結時、中国東北地方「満洲国」に置き去りにされた日本人の子ども・女性たち残留孤児・残留婦人です。彼・彼女たちは戦後も長い間、日本に帰国できず、1972年に日中国交が回復した後、ようやく日本への帰国を許されました。しかし日本語もできず、日本への帰国後も多くの困難を抱えて生活しています。本プログラムでは、こうした中国残留日本人とその家族の皆さんを支援する活動に加わり、そうした人々がなぜ、現在、日本に暮らしているのか、私たちの社会の成り立ち、歴史を知り、私たちの社会は今後、どうあるべきかを考えます。具体的には、下記の活動を行います。

- 1) 9月以降、毎月3回木曜日の午後1時～3時30分、中国残留日本人とその家族の日本語教室に通い、日本語教育・教室運営の補助を行う。
(大阪市内の教室・3回分については、別途、日程を調整する)
- 2) 中国残留日本人の歴史や現状について理解を深める交流会や懇談会、学習会などの企画・運営に参画し、ボランティアの方や中国残留日本人の皆さんの取り組みを学ぶ。
- 3) 摂南大学にて中間報告会・成果報告会を行う。

活動の目的

過去の戦争から現代にいたる大きな社会の変動の中で生き抜いてきた中国残留日本人やその家族の人生を知り、日本語学習・交流事業を支援し、多文化共生の社会に向けて実践的・主体的に取り組む。

求める人材像

戦争と平和、日本と中国の関係、中国残留日本人・帰国者、多文化共生社会などに興味・関心がある方。

活動を通じて得られる知識・スキル・視点など

- ▶ 日本語の教育、多文化共生の実践力、近現代の歴史・日中関係・中国残留日本人などに関する地に足のついた知識。
- ▶ 異文化の方々と交流し、日本語を教えることを通して、視野を広げる。

FALプロジェクト概要



テーマ

夜間中学・識字教室における社会的マイノリティの学びの支援

連携先

守口市立さつき学園夜間学級、識字教室ひまわりの会

主な活動場所

大阪府守口市(夜間中学)、兵庫県神戸市長田区(識字教室)

キーワード

学習支援、マイノリティ支援、識字・日本語学習支援、多文化共生

活動内容 概要

年齢や国籍を問わず、子ども期に基礎的な教育を十分に受けられなかった義務教育未修了者や、不登校で十分に学校に通ってなかった形式卒業者、渡日して日本語学習や基礎的な学びを必要とする外国人等が学ぶ夜間中学や識字教室で、学習や行事等をサポートする。

活動の目的

- ・夜間中学生や識字学習者のより充実した学びの機会の提供を支援する。
- ・夜間中学の生徒や教職員、識字教室の学習者やスタッフ等との交流を通して、日本社会を生きるマイノリティの生活実態や抱える課題を理解し、共生社会の構築に向かう意欲を育む。

求める人材像

- ・人に何かを教えることやコミュニケーションをとることに興味がある。
- ・外国人や障害のある人たちなど、社会的マイノリティの実態に興味がある。

活動を通じて得られる知識・スキル・視点など

- ▶ 日本社会で生きるマイノリティの抱える困難や課題への理解が深まる。
- ▶ 義務教育段階の基礎的な教育を教えるための技術や方法が身につく。
- ▶ 現代の学校教育が抱える課題について考える視点を得られる。
- ▶ 多様な年齢の多様な背景をもつ人とコミュニケーションをとる力が身につく。

FALプロジェクト概要



テーマ

多文化共生・神戸 1: 在日コリアンが見つめる日本の姿を知る

連携先

一般社団法人 神戸コリア教育文化センター

主な活動場所

神戸在日コリアン: ことばとくらしのミュージアム、および神戸市立蓮池小学校

キーワード

移民ミュージアム、在日コリアン、継承語・継承文化育成、多文化共生

活動内容 概要

在日コリアンやベトナム人・ミャンマー人などが多く暮らす多文化の町、神戸市の新長田での活動です。新長田でのフィールドワークを行った後、下記の2つの活動からどちらか一方を選び参加します。

①2024年夏に開設予定の「神戸在日コリアン: ことばとくらしのミュージアム」の受付業務やイベント・フィールドワークの企画・運営を担います。

②週に1回、日本の公立小学校に通いながら、継承語・継承文化としてのハングルや在日コリアンの歴史を学ぶ在日コリアンの子どもたちの、継承語・継承文化学習のサポートし、12月に行われる継承文化学習発表会開催の支援を行います。

連携先の神戸コリア教育文化センターは阪神大震災以来、在日コリアンの子どもたちの民族教育の場(オリニソダン=子どもの学校)を神戸の公立小学校の中につくってきました。その一方で在日コリアンの神戸への定着の歴史を記録したミュージアムを作り、日本の市民への人権学習や国際理解教育の場を作ろうとしています。在日コリアンの子どもたちや彼らとともに生きようとする人々とともに活動を行い、子どもたちや保護者たち市民活動家と肩を並べて、触れ合うことで在日コリアンコミュニティから日本社会を見つめなおします。

活動の目的

在日コリアンの子どもたちや保護者、会場となる公立小学校教員、ミュージアム設立を目指す人々とともに活動をすることで、日本社会をマイノリティの視点で見つめなおし、いまある日本社会の問題を改善改革するには何が必要か考え、行動する力を涵養します。

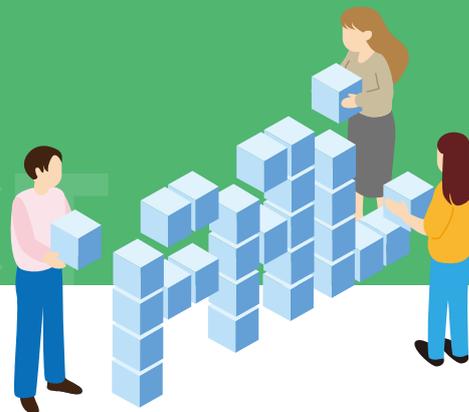
求める人材像

- ・他者の視点に寄り添える。 ・傾聴する力を持つ。
- ・判断を留保する力(エポケー)を持つ。 ・異なる意見/視点を尊重できる。
- ・歴史的背景を知り現在起きている問題を見通す姿勢を持つ。

活動を通じて得られる知識・スキル・視点など

- ▶ マイノリティ(少数派)の立場、マジョリティ(多数派)の立場双方から社会を俯瞰する力を身につける。
- ▶ マジョリティ(多数派)には見えない日本社会の抱える問題点に気づき、考え、改革のための行動を起こす力を身につける。*青少年活動の経験年数としてカウントされうる活動。

FALプロジェクト概要



テーマ

多文化共生・神戸 2: 多文化共生のまちづくりを担う

連携先

NPO法人たかとりコミュニティセンター

主な活動場所

神戸市長田区、NPO法人たかとりコミュニティセンター

キーワード

コミュニティラジオ、外国人住民支援、多文化共生、マジョリティの変容

活動内容 概要

5日間1日6時間合計30時間たかとりコミュニティセンターで集中的に研修プログラムに参加します。たかとりコミュニティセンターには「コミュニティラジオ(FMわいわい)」「ベトナム人の子どもへのベトナム語支援と学習支援(ベトナム夢KOBE)」「介護支援団体(リーフグリーン)」「ラテン系住民支援団体(ひょうごラティーノ)」「多言語翻訳センター(FACIL)」など様々なNPOが活動しています。その中から1団体を選び、5日間のインターンとして活動します。また活動前には長田の町になぜたくさんの外国人市民が暮らしているのか理解するためのフィールドワークを予定しています。そのほか関連の学習会への参加や企画運営を行います。

活動の目的

外国につながる住民や、その支援者とともに活動をすることで、日本社会をマイノリティの視点で見つめなおし、いまある日本社会の問題を改善改革するには何が必要か考え行動する力を涵養します。

求める人材像

- ・他者の視点に寄り添える。
- ・傾聴する力を持つ。
- ・判断を留保する力(エポケー)を持つ。
- ・異なる意見/視点を尊重できる。
- ・歴史的背景を知り現在起きている問題を見通す姿勢を持つ。

活動を通じて得られる知識・スキル・視点など

- ▶ マイノリティ(少数派)の立場、マジョリティ(多数派)の立場双方から社会を俯瞰する力を身につける。
- ▶ マジョリティ(多数派)には見えない日本社会の抱える問題点に気づき、考え、改革のための行動を起こす力を身につける。

FALプロジェクト概要



テーマ

多文化共生のまち、大阪を見つめる

連携先

富田林国際交流協会 ほか2カ所

主な活動場所

富田林国際交流協会(富田林市) せつつ地球村(摂津市) 猪飼野セツパラム文庫(今里)

キーワード

多文化共生、居場所、外国ルーツの子どもの育ちに寄り添う、町の図書館

活動内容 概要

大阪は在日コリアンなどのオールドカマーとベトナム人・フィリピン人・ネパール人などのニューカマーを受け入れ、その多様性の力によって輝きを増しているまちです。大阪で外国人の子ども・大人・それにかかわる人々が集まる居場所での活動に参加し、外国につながる人々に寄り添い、その力を引き出し、いかに「まちの魅力・パワー」としていか考えます。

活動の目的

富田林国際交流協会が行う外国ルーツの子どもたちへの支援の場であるサマーキャンプとモザイクキャンプに参加し、外国ルーツの子どもたちと出会い、NPO関係者や学校関係者と肩を並べて活動することで多文化な街づくりについて学ぶ。せつつ地球村の子どもの居場所活動に参加する。猪飼野セツパラム文庫では町の私設図書館で行われる研究会やイベントの運営に参画し、多文化な街を市民の努力で作りに上げている現場を学ぶ。

求める人材像

- ・他者の視点に寄り添える。
- ・傾聴する力を持つ。
- ・判断を留保する力(エポケー)を持つ。
- ・異なる意見/視点を尊重できる。
- ・歴史的背景を知り現在起きている問題を見通す姿勢を持つ。

活動を通じて得られる知識・スキル・視点など

- ▶ マイノリティ(少数派)の立場、マジョリティ(多数派)の立場双方から社会を俯瞰する力を身につける。
- ▶ マジョリティ(多数派)には見えない日本社会の抱える問題点に気づき、考え、改革のための行動を起こす力を身につける。